

2020年 - 3月 - (園だより)

2019年度主題 ことばに満たされて～ひびきあう～

3月主題 かけがえのない

3月の願い

一人ひとりが神さまに愛されているかけがえのない存在であることを感じる

神さまへの感謝、希望をことばや賛美で表す

アイデアを出し合い遊びを充実させ、満ち足りた思いをもつ

仲間と共に見通しをもって自分たちの生活を組み立てていき、新しい生活への期待をもつ

さんびか どんなときでも

聖句 ひかりのこととして あゆみなさい

(エフェソ5:8)

光の子として歩みなさい

早いもので今年度の最後の月、3月になりました。コロナウィルスの感染者が世界中に拡がり、日に日に感染者の数が増えている不安な状況の中で私たちは過ごしています。当園の子どもたち、保護者の皆様、教職員の健康と、この病の終息を日々祈っています。なお27日首相より3月2日より全ての小中高の休校要請が出ました。近々、日南市から幼稚園、認定子ども園、保育園に対する対応が伝えられます。当園においてもそれに合わせて、対応を行います。決定しましたら、皆様にお伝え致します。どうぞよろしくお願い致します。

このような不安な状況の中でも、子どもたちは元気に園庭を駆け回っています。また年長黄組の子どもたちは、卒園を直前に控え、竹馬等最後の目標に励んでいます。残り僅かな日々の中で子どもたちが沢山の良い思い出を作り、また目標を達成し、自信を持って小学校、一つ上の学年に進級して欲しいと思います。

今年度最後の聖書の言葉は、新約聖書エフェソの信徒への手紙5:8の「光の子として歩みなさい」というキリストの弟子パウロの言葉です。私は過去に愛媛県松山市にある幼稚園の園長を6年間勤めました。この幼稚園においても必ず3月の聖書の言葉はこの箇所を選んでいました。

光は人の心を温め、人の進むべき道を指し示し、不安に苛まれる人々に安心感を与えるものです。また光は人の心の中の暗闇(罪)を照らし、明るみに出すものです。

子どもたちは生まれながらに神様から光を受けて光の子として歩んできました。しかし、彼らは大きくなるにつれて、この世の様々な闇の影響を受けてその光を失っていくのです。子どもたちは、この幼稚園で無条件に子どもたちを愛し導いて下さる神様がいる事を知りました。また、平和と正義と公平を願う神様の思いをしりました。どうか子どもたちが小学校に行っても、大きくなって他者の心を温め、見通しの立たない道を指し示し、安心感を与え、他者の誤りを正す事のできる「光の子」として歩んでくれる事を心から祈ります。

※次年度より幼稚園白組以上の保護者様は幼稚園向かいの駐車場に車を止めて、教室までお子様をお送迎して下さい。子供の家幼稚園は当園の原点に返り、保護者との交わりを大切にします。なお、幼稚園下の駐車場は1.2歳児の園児保護者専用の駐車場にします。また、現在お迎え時に幼稚園前での路上駐車される事に、クレームがきていますので、必ず幼稚園向かいの駐車場に止めるようお願いいたします。ご理解頂けます様、よろしくお願い致します。

子供の家幼稚園園長 葛井義顕